

当面のスカウト活動について

2020年6月1日
ボーイスカウト世田谷第4団
団委員長 佐藤武司

日頃から当団の活動へのご支援ありがとうございます。

さて緊急事態宣言の解除によりスカウト活動も徐々に再開していくことになり、日本連盟、東京連盟、世田谷地区等から活動のガイドラインが出ておりますが、当団では、主に世田谷地区の5月30日付けの方針（添付ご参照）に基づき、当面下記の内容にて活動を実施することと致しますので、育成会員の皆様におかれてもご理解・ご協力をお願い致します。

記

1. 前提

スカウト活動は、組、班等をベースにチームとしてグループ活動を行うことが多く、言い換えるといわゆる「三密」のリスクがあるということを前提として、細心の注意・準備をして活動を実施する。

2. 活動内容の見直し

- ① 頻度：隊集会等は、2週間に1回程度を目安として、密にならない班集会・組集会を組み入れ活動を実施する。
- ② 場所：極力、近隣での活動とする。
- ③ 補完：web等の活用で、進級進歩への支援も実施する。

3. 集会等の実施方法

- ① 参加の前提として、体温測定等を実施した「**健康チェックリスト**」を持参する。
なお、体調がすぐれない場合は、無理せず参加は遠慮ください。
また、健康チェックリストの内容によっては、参加を認めないこともあります。
- ② マスクは、家を出てから、帰るまで着用とする。
- ③ 集合等の際のスカウト間の距離は2m程度、空けるように配慮する。
また実施時には、組・班毎に分散するなど密にならないように配慮する。
- ④ 大声での指示、歌唱は実施しない。（歌は、声を抑えて実施することは可）
- ⑤ 祝声、各種コールなども大きな声では実施しない（声を抑えて実施）。
握手等の直接接触は控える。
- ⑥ 実施内容に応じうがい・手洗い等を励行する。（消毒用アルコール等は隊で用意する）

4. 夏季行事（宿泊を伴うもの）について（各隊長より改めて説明が有ります）

- ① CS 隊の舎営は、移動手段も含めリスクが高いと考えられるので、今年度は見送る方針。（代替行事を検討する）
- ② BS 隊以上の野営は、泊数を短縮し、テント内宿泊人数制限及びソロテントの活用などで密にならない形で実施する。（都内キャンプ場を利用しての実施を検討中）

5. その他

以上は、現時点での状況、指針等に基づく内容であるが、今後の社会情勢や、関係先からの指示・指針により適切に見直して行く。

（添付資料）

資料1：世田谷地区スカウト活動への方針

資料2：健康チェックリスト

プリントして、集会参加時に持参させて下さい。